

# 連盟会報

発行日：2014年(平成26年)5月7日

…◆第32号◆…(P-1)

発行：NPO法人日本抜刀道連盟

企画・構成・編集：広報部

…事務局…

〒212-0012 川崎市幸区中幸町 1-17

☎：044-555-8660 FAX：044-223-7544

## 平成26年度 総会開催

平成25年度 事業報告(実績)

4月	7日(日)	※総会 款、研修学習センター
	6日(土)	制定刀法講習会 豊城支部(講師・樋口先生、中村先生、平賀先生)
	7日(日)	制定刀法講習会 笠間院心館支部(講師・太田先生、山中先生)
5月	21日(日)	制定刀法講習会 イタリア支部
	27日(土)	制定刀法講習会 イタリア支部
	28日(日)	(講師・山中先生、ダンアリオ・ジョバンニ先生、パロソビ・マウリツァオ先生)
6月	4日(土)	制定刀法講習会 イタリア支部
	5日(日)	(講師・山中先生、ダンアリオ・ジョバンニ先生、パロソビ・マウリツァオ先生)
	12日(日)	東北地区講習会 主管：山形支部(講師・山中先生、遊藤先生)
7月	19日(日)	第6回台湾支部抜刀道大会
	8日(土)	※本部制定刀法講習会 神奈川県立武蔵館(教習部)
	30日(日)	第6回全国抜刀術大会 山形市 遊藤先生
8月	27日(土)	制定刀法講習会 高知、鳥取、讃岐、福岡支部合同
	28日(日)	(講師・大江先生、樋口先生)
	31日(土)	制定刀法講習会 高知支部(講師・樋口先生)
9月	1日(日)	京位講習会 高知支部(講師・樋口先生)
	15日(日)	制定刀法講習会 武山会支部(講師・山中先生、大須先生)
	15日(日)	制定刀法講習会 笠間院心館支部(講師・太田先生、山中先生)
10月	5日(土)	※第22回日本抜刀道連盟研修者審査会 鹿島神社
	6日(日)	※第22回日本抜刀道連盟全国大会 鹿島神社
	9日(土)	笠間院神社奉納 太田先生
11月	10日(日)	全日本抜刀道連盟全国大会 会長・遊藤先生
	17日(日)	制定刀法講習会 台湾支部(講師・菅野先生)

平成26年

3月	30日(日)	※本部研修会 主管：事務局 神奈川県立武蔵館
----	--------	------------------------

上記は申請のあったもののみ記載。※は本部主催のもの。

### …議事および報告…

- ① 平成二十五年度 事業 報告 事務局 菅野 茂  
 ② 平成二十六年 事業 計画(案) 事務局 菅野 茂  
 ③ 平成二十五年度 会計 報告 会 岡本 光正  
 ④ 平成二十六年 度 会計 予算(案) 会 岡本 光正  
 ⑤ 監 査 報 告 監 査 藤 啓 子  
 ⑥ 規約改正について 次副会長 金子 翼  
 ⑦ 制定刀法解説について 副会長 中世古 勝司  
 ⑧ 報告事項(連盟二〇年史) 教務次長 大塚 光男  
 ⑨ 全国大会について 教務次長 菅野 茂  
 ⑩ 閉 会 挨拶 会長 大江 正夫
- 国立国会図書館へ寄贈  
 広報部長 中島 正夫  
 長 大江 正夫

…建設的かつ前向き活発な質疑応答…

春うららら、陽春爽やかな快晴の平成二十六年四月二十六日(土曜日)…。NPO法人日本抜刀道連盟の定期総会が東京都港区新橋の生涯学習センターで開催された。総会は冒頭、大江正夫会長が議長となりご挨拶。議事は滞りなく進められ、いずれも各支部からの、活発かつ有意義な質疑応答の後に議事は承認された。

▼出席者：26支部。委任状：20支部。返信なし：1支部。



菅野 茂 事務局長(左)から、平成25年度の事業計画実績の説明があり、連盟本部に協力し活躍する“各県各支部”の姿が実績を残している…。



↑ 全国各地で活躍する  
支部長&指導者

抜刀道界と連盟の  
将来を担う ⇨  
連盟本部役員一同



### 平成26年度 事業実行計画

4月	12日(土)	制定刀法講習会 高知支部・讃岐支部合同
	13日(日)	審査会 (講師・樋口先生、中村先生、平岡先生、堤先生、藤本先生)
	13日(日)	制定刀法講習会・審査会 笠原院心道文庫(講師・太田先生、中世古先生、大塚先生)
	20日(日)	制定刀法講習会・審査会 武山会支部(講師・田嶋先生)
	26日(土)	新総会 於、新橋学習センター
5月	11日(日)	制定刀法東北地区講習会・審査会 主管：山形支部(講師・遊藤先生)
	11日(日)	制定刀法講習会 神農支部(講師・中世古先生)
	18日(日)	第7回台湾支部抜刀道大会
6月	29日(日)	第7回全国抜刀道大会 山形市 遊藤先生
7月	12日(土)	制定刀法講習会 島根合同会館(講師・大江先生、中世古先生)
	27日(日)	※本部制定刀法伝道講習会 神奈川県立武道館小田場
8月	24日(日)	※本部五段以下審査会 神奈川県立武道館小田場
9月	6日(土)	制定刀法講習会 鹿知支部・讃岐支部合同
	7日(日)	審査会 (講師・樋口先生、中村先生、平岡先生、堤先生、藤本先生)
	7日(日)	制定刀法講習会・審査会 笠原院心道文庫(講師・太田先生)
10月	4日(土)	※日本抜刀道連盟高段者審査会 鹿島神社
	5日(日)	※第23回日本抜刀道連盟全国大会 鹿島神社
11月	8日(土)	笠原院心道文庫 大田先生
	16日(日)	制定刀法講習会・審査会 台湾支部(講師・青野先生)

平成27年

2月	米定	※本部制定刀法伝道講習会 会場未定
3月	29日(日)	※本部審査会 神奈川県立武道館小田場

## …制定刀法解説(質問形式)… ◆冊子完成◆

連盟の会員増に伴い、いろいろの方が入会してくる。我が連盟は、武道の源流をなす抜刀道 頂割刀法を日本の文化武道遺産として伝承すべく、精鋭修練する為の「抜刀道必携」とも言うべき、我が連盟の活動の生命でもある抜刀道「制定刀法教本」を支え「解説」した、素晴らしい《手引き書》が、この度、中世古副会長兼事務部長の労作編集により完成した。  
【支部長には見本として無料でご送付しておりますが…◆1冊/¥500⇒事務局まで】



### ◆会長 大江正男 閉会挨拶◆

新年度の初まりに際し、振り返ると特に高段者に言いたい！。昨年12月の審査での「新し損じ」の失敗を、今回の「特別審査会」に於いても同じ「損」を踏んでいる。私は今回こそ「全員合格」を期待していただに残念だ！。

日頃は斬れると「自己満足と我執」心の油断が「自己の成長」を妨げる…。この事を肝に銘じ、次回こそは、頑張ってほしいとの総会閉会に際しての「反省と期待」の挨拶があった…。

◆報告事項◆ 中島正夫 広報部長 ▼「本連盟20年の歩みと実記録」… 広報部長は、国立国会図書館を誘い「連盟20年史」2冊を寄贈。 武道の源流をなす「抜刀道」を日本の文化武道として後世に残すべく、本連盟と共に歩む、本日出席の「支部長初め会員諸兄」の地道な活動実録が、「国立国会図書館」の手より正式に「国民の共有の文化的資産」として、日本全国に広く公開され、図書館に永久に保存されることが、決定されたこと…。 中島正夫 広報部長より報告がなされた…。(なお、本件の情報は「インターネット」で、現在発信…公開中)

### ◆規約の改定◆ 金子 貢 次席副会長



◆平成26年5月1日：施行。  
下記《改定の要点》を把握し修練に励んで下さい！

#### ▼規約3頁…報道の取り扱い。

個人又は支部に属する各々の報道に関しては、その内容については、個人又は支部が責任を持つ。《改定》⇒ 但し、報道の依頼があった場合、その内容等は、事前に可能な範囲で連盟本部と協議すること。

#### ▼称号・段位審査規則(1-2頁)。

錬士・教士共に審査に際し旧規則では支部長を通して申請するが…、《改定》⇒ 支部長を通してを《削除》し直接連盟本部に申請する。

#### ▼称号・段位審査規則(4頁) 審査回数。

旧規定では、5段以下の審査(年2回) 高段者(年1回)と、決められていたが…、《改定》⇒ 必要に応じ、それ以外の日にも行う事が出来るに変更。

#### ▼称号・段位審査規則(4頁) 審査。

5段以下の実技に於いては、女子および75才以上の《男子》に限り希望によって半巻を使用する事が出来ることと《表現》を変更。

#### ▼称号・段位審査規則(4頁) 資格認定・資格審査。

【第21条】⇒ 抜刀道・居合道・剣道・古武道等の経験・実技を持つ者は、免許証の写しを段級審査会の長に提出して資格審査を受け、合格した者は五段を限度として審査を受けることが出来るに変更。

#### ▼称号・段位審査規則(4頁)に ⇒ 追加。

【使用する刀】⇒ 受審者が使用する刀は、原則として《鍛造り》と指定。また、目釘の材質は原則として、《竹》とし、金属の場合は、試合中に抜け落ちることのないような対策を講ずることと注意喚起。

#### ▼称号・段位審査規則(4頁)に ⇒ 追加。

【外国に於ける審査の特例】 外国・遠隔地に於ける5段以下の審査に於いて審査員の数が8・9・10に満たない場合の審査。⇒ 6段以上の審査員名は必須条件とし《形・実技》の、リアル無編集の撮影のビデオ製作し、そのビデオ審査は、高段位審査員構成の審査会での審査… 旧規則の3名から ⇒ 2名に変更する。





## ◆特集◆ … 特別審査会《5段以下の部》…

▼ 初段～五段の部：（午前九時開始）

▽ 高段者 六段～八段（十三時開始）

去る平成二十六年三月三十日（日曜）本連盟主催では初めての五段以下の「特別審査会」が神奈川県立武道館小道場で午前九時から十二時にかけて行われた。  
審査会は、審査委員長の菅野茂 教士七段を中心に、大塚光男 範士八段・岡本正光 範士六段が審査員となり、進行司会は広報部次長の松浦健城（忠勇会支部長）が担当し厳粛に執り行われた。

審査開始前には受審者が集められ菅野審査委員長から受審上の細かな注意点と、全員合格を旨として、日頃の修練の成果を十分に発揮し挑戦するよう激励と期待の言葉があった。

審査員から  
大塚光男 範士八段  
菅野茂 教士七段  
岡本正光 範士六段



受審前の注意点と全員合格を目標せと、期待と激励をする菅野茂 審査委員長（中央）。

## … □ 高段者審査 □ …

…日頃は斬れるとの「自己満足と我執」心の油断が自己成長を妨げる…

：慎重には慎重の…◆ 刀剣検査◆…

引き続き「高段者審査会」が、十三時の定刻に始まった。本連盟の審査会は、技の技量だけの審査でなく高段者としての心得と「心・技」が厳しく求められている。

従って、審査に入る前に連盟存続の生命線とも言わべき審査或いは競技中に於ける「絶対安全」の確保を維持推進するための「刀剣検査」が念には念をいれ、審査員金子翼 範士八段により、慎重かつ丁寧に行われた。審査会は、緊張のなか菅野茂 事務局長の進行司会により厳粛・順調に進められた。



審査開始にあたり冒頭、大江正男 審査委員長からは、本日受審する高段者の方々は各県各支部の指導者であると同時にこれからの連盟の組織運営を担う責務を背負っていることを認識し、指導者として活躍してほしい。

この様な観点から、日頃の稽古修練では、斬れるからとの「自己満足と我執」は、禁物である。そして、その「心の油断」は、自己の成長を妨げる。

この様なことを認識し、前回失敗の「新り損じ続出」等が無きよう日常の修練の成果を、この場で発揮して、全員合格の道を開いてほしいとの、期待と激励の言葉があった。



一室刀の「目釘・刀身&柄・柄のガタ・鑢・物打ちの身幅」の点検を受ける受審者





## ◆成績発表◆

◆(初段～5段) 受審者◆

初段…1名。2段…1名。

3段…3名。4段…4名。

◆高段者(6段～8段) 受審者◆

6段…6名。7段…2名。

8段…1名。

□ …◆合格者◆… □

2段	佐藤友彰	(聖心会)
3段	清水圭介	(鎌倉支部)
4段	小林克巳	(尚武館)
6段	野口常男	(興心会)
6段	佐藤啓子	(川崎支部)
6段	藤原義彦	(八代支部)

## ◆審査委員◆

↑(右から) …《進行・司会》…

事務局長 菅野 茂

審査員	太田文夫	範士八段
副委員長	中世古勝	範士八段
委員長	大江正男	範士八段
審査員	中島正夫	範士八段
審査員	金子翼	範士八段

◆合格者◆ 高段者(7段～8段)…なし。



↑ 高段者としての心得等、下記講評内容の「反省と期待」を述べる  
特別審査講評の「大江正男 審査委員長」  
⇐ 支部の発展、連盟の発展を担い「高段者審査に挑戦」する指導者

## ◆特別審査《講評》◆

審査委員長 大江正男(連盟会長)

特別審査会の閉会にあたり、今回の審査結果は、修練練度を示す致命的な「斬り損じ」の失格者が続出した。この為に、審査委員長 大江正男 連盟会長から、この道を修練する上での貴重な「猛省・認識・心得・修練の見直し」等々につき、厳しく、かつ温かい「貴重な助言」と、激励の講評が、次ぎの通りなされた…。

昨年の連盟全国大会前日の十月六日(土曜)の高段者審査は、六段から八段まで十三名の受審者があったが、合格者は僅か「六段…二名」の合格者に留まった。一般論として審査が厳しいのではとの声も聞かれたが…、それは全くの間違いであり、特に高段者の抜刀道の真剣刀法に於いては「斬り損じ」は致命的な《心・技》の欠如なのである…。

今回の特別審査会では前回の反省を踏まえて、全員が《錦の旗》をもって地元支部に帰還してほしいと願っていたが、またもや、前回と同様な事が起こり、更なる修練を積まなければならぬ。昔段の稽古試斬では、融調なだけに満足している。その反面、審査の場では、何故か《斬り損じる》…。何故だろうか…。この様に自分では気づかない、心の隙「おこり・自信過剰」が何処かにあるからであり、全てが上述の妨げとなるのは《慢心と我執》であります。次回からは、更に剣の道の極意《心技一如》平常心の「本物の心技」の修練を積んで再挑戦してほしいと期待する…。





## ◆特別寄稿◆ (原文)



中世古 勝司  
副会長兼  
教務部長

### 斬り損じは『未熟』の 一語に尽きる

平成二十六年三月三十日(日) 神奈川県立武道館に於いて連盟で初めての特別審査会を行った。ところが低段位者は疎(そ)か高段者までも斬り損じが続出して、今までにない事態が発生した。

制定刀法においては、形を重視するのは当然であるが形にばかり囚(とら)われて、斬ることに集中出来ないのか？。わかれて、斬るはたまた、緊張のあまり平常心を保てないのか？。体調が悪かったのか？。どう考えても行き着くところは「未熟」と言う一語だけが残る。

何年も何十年も修練を重ねてこられた高段者の方々には誠に失礼とは思いますが「未熟」の一語を使わせて頂きました。

「制定刀法」抜刀道教本の互角の腕を持つ武士同士の真剣勝負を想定した刀法の精神から申せば、斬り損じた剣士は、その場で敵に斬られたも同然です。

いかなる理由があろうとも、抜刀道に於いては斬り損じは許されるものでなく、申すまでもなく、斬れる事が最低の条件です。基本に戻って、斬る為の技を「一本目から十本目」まで、刀法の理念に基づいて丹念に修練して下さい。

修練あるのみです！。

## …連盟20年史…

### 日本抜刀道連盟20年の歩みと記録

武道の源流をなす“抜刀道”を日本の武道文化遺産として後世に残すべく  
本連盟の“地道な活動の足跡”が、国立国会図書館の手により  
「国民共有の文化的資産」として広く公開され、同図書館に未永く保存される！。

国立国会図書館  
National Diet Library



東京本館  
建設準備

専門分野 法定納本図書館  
事業主体 国会  
開館 1948年(昭和23年)2月25日発足、同年6月5日開館。  
所在地 〒100-8924  
東京都千代田区永田町一丁目10-1

中島正夫  
参与兼  
広報部長



#### ◆インターネット◆ …開示操作…

- ① YAHOO 或いは“GOOGLE”に“国立国会図書館”を入れ⇒《検索》
- ② 国立国会図書館《サーチ》を⇒“C”
- ③ 窓に“日本抜刀道連盟”を入れ⇒《検索》
- ④ 何故か目立つ様に…《特別》に黄色で塗られた“連盟20年史”が表示されるので、その上を⇒“C”
- ⑤ 連盟20年史の詳細開示。

審査の結果…平成二十五年十二月十二日付で、国立国会図書館側から書簡にて、この度、寄贈された冊子は、広く公共の利用に供すると共に《国民共有の文化的資産》として、未永く保存して参りたいとの、丁寧な文書を戴いた。なお《連盟二十年史》は現在、国立国会図書館東京本館と関西は京都総合閲覧室にて公開閲覧されており、さらに「インターネット」上にて、全国公立図書館並び一般市民そして国内・海外へと発信公開されております…。

平成二十五年十二月。中島正夫 参与・広報部長は、東京永田町の「国立国会図書館」を訪ね、本連盟として、日本武道の源流をなす「抜刀道」を日本の文化武道遺産として後世に残したいとの趣旨説明と、本連盟の斯道に対する「継承と普及活動」の実態・実績と、その「足跡を立証」する為「実記録の集大成」による、説得力ある《文献：新編集方針》の主旨を説明し、謹んで「連盟二十年史」二冊を寄贈させて頂いた…。





## “菊づくり 菊みるときは 陰のひと”

連盟全国大会、審査会等で選手・受審者が試斬する巻藁の「準備：後始末」までを、毎年、太田笠間支部長・森山水戸支部長・藤田剣誠会支部長が中心に行われ、連盟活動を支え貢献しており、その陰には並々ならぬ苦勞が隠されている。

本部広報部は、本部主催の初段、五段までの「特別審査会」は、初めての事として、午前九時前から取材に入った。

今回は藤田剣誠会支部長が中心となっており、その準備に入っており、初段から八段までの「受審者十八名」に対して、心を込めて製作された《入魂巻藁》は、「一五二本」が準備された。巻藁は、審査に望む受審者の「試斬する立場」に立って一本一本が丁寧に巻かれ、今回は斬れやすいように外気温が低いので三週間浸け込み、藤田支部長自ら、早朝四時に茨城県常陸大宮を出て運搬。松浦健城広報部次長・富田兼介尚武館支部長の協力を得て神奈川武道館に運び込んだ。

下記のスナップは、全て審査が終了し選手が帰りにかけた頃に斬り終えた巻藁の後始末に孤軍奮闘する、尚武館支部：小林克巳・城和広貴・鈴木孝典・上野浩一郎、笠間支部：浦井一彦の「精鋭なる各選手」。

▼「ご苦労様：ありがとうございます」みんな感謝の拍手を贈るうではないか。「本部 広報部」



## 広報 編集…後記

▼会報32号は、平成26年度総会記録と「特別審査会」の特集を組み合わせて6枚に纏めた。しかしながら、この《会報32号》をよく見ると、活字がかすけて印字が飛び一部みづらくなっている事に気づく。

▼1頁の会報原稿の完成までには「規定枠への活字合わせ」と全体のバランスの微調整に「約50枚」近くの、コピーを行い調整する「気配りと陰の苦勞」…そして「時間」が隠されている。

▼従って、打って、打って、打って打ちまくった、「ワープロのヘッド」が、ついに摩耗。活字がかすけてきた状況下で、何とか今回の「発刊」にこぎつけた。

▼次回の会報が「休刊」にならぬ様に老朽化した「ワープロ・ヘッド」中古部品を探し出し、特別にメーカー側への部品持ち込みでの、修理検討を行い修復させるべく現在、奔走している。



本部  
広報部長  
中島 正夫

## ◆お人柄紹介◆

◆所属支部 ◆ 剣誠会  
◆武 道 歴 ◆  
※…抜刀道 錬士六段…  
NPO法人 日本抜刀道連盟  
※ 剣道・柔道・空手  
(各2段)



藤田 久男 (59歳)  
剣誠会 支部長

◆趣 味 ◆  
※ 抜刀道と刀剣および  
歴史の研究。

◆座右の銘 ◆  
『“人と煙草”の“善し  
悪し”は煙りとなりて  
後に知るなり』  
【祖父 久蔵の遺訓】

◆その他 ◆  
大学在籍の頃、故・道さ  
中村泰三先生、抜刀道格的に  
公開演武を拝見、抜刀から本  
れこの道に入る歳からこの  
この道の修練に

連盟本部主催、今回の「特別審査会」では、受審者の立場に立って、試斬しやすい様にと、藁の継ぎ目を裏に隠し、午前・午後を通しての長時間、黙々と巻藁を正確に一本一本立てて進行を図る、藤田支部長の後ろ姿からは「頑張ってくれ！」と声援する心の叫びが聴こえてくる。

人格円満・温厚なお人柄の支部長は、これまた、格調高く、ご先祖が清和源氏の流れだそうで、佐竹上総之亮義實を、藤田大祖として同氏は二十三代目の分家を継いでいる。

人生の指針は、生前に人徳があり、皆から親しまれた祖父の「人生の生き方」に大きく影響されており、人生は全て《誠》をもって生きると、文武両道の道に挑戦する：「現代の武人」

藤田支部長の雄姿と、そのお人柄をご紹介します。

## ◆事務局便り◆

本部 事務局長 菅野 茂



- ①第二十三回全国大会と高段者審査  
十月四日十三時から(八段、八段)  
全国大会：十月五日九時開会
  - ②申し込み締め切り。八月十日厳守  
形・実技・団体に、選手名を書き  
広告原稿を同封して事務局へ郵送  
それ以上の支部は2チームとする
  - ③団体戦の出場選手が2名の場合は  
「先方と中堅」とする
  - ④段位別実技で、危険でない技に限り  
「赤・白」同時進行。当日審判長が指定
  - ⑤会場は鹿島神武殿の1、4会場を使用し  
段位別の会場は、当日進行委員長が指定
  - ⑥宿泊先は各人自由、参加費5000円と  
高段者審査料は申し込み時に振り込む
  - ⑦第25回(平成28年)からの《全国大会》  
会場、▼神奈川県立武道館剣道場(予定)  
▼東京武道館大武道場(予定)
- ▼東京武道館大武道場(予定)  
▼東京武道館大武道場(予定)
- 《形》の稽古会開催を検討中。  
連盟会員なら自由に参加出来ます。